

優しく強い子に！



http://www.minamih.net/
19・7・23(火)
南NEWS no 43



澤井農園の合鴨 矢上撮影

八王子市高月町にある澤井農場の合鴨米の田んぼにいる合鴨達です。人の足音を聞くと餌をもらえると寄ってくるのです。合鴨を雛のうちから田んぼに入れて虫や雑草を食わせるのです。虫剤・除草剤は無用になります。合鴨の糞や尿は有機肥料になります。他の肥料も無用になります。

おまけに合鴨が田んぼの中をかき回してくれるので全体が地味豊かな田んぼになるのです。成長すると実を食べてしまうのでその前に丘に上げるそうです。澤井農場の合鴨米を毎年ふた月に10kgを取り寄せて食しています。無農薬・有機農法の合鴨米。おにぎりにして冷めても美味しいお米です。毎月取り寄せている福島の胚芽米も美味しいのですが、甲乙つけがたいのです。澤井保人さんが合鴨米を栽培しているのです。奥さんのちかえさんは、矢上の由井三小での最初の教え子です。教師一年目に出会った子ども達の一人です。今も年に3回は同窓会をしています。算数が得意な明るく積極的な子でした。農家の奥さん達に呼び掛けて八王子駅や南大沢駅で定期的に野菜などの販売をしています。八王子駅の改札向かいの売店の前で販売をしています。でも、残念な話を聞いたのです。ちかえさんの話によりますと「もう合鴨米は大変だから止めようと言っています」とのことでした。東京で唯一の合鴨米の栽培農家がなくなるのかもしれないのです。「何とかGAMB Aってほしいね」と言ったのですが……。

私の家から京王片倉駅に行く途中左側に広い畑がありますが、働いている方々を見ると、どなたも高齢の方ばかりです。澤井さんは50半ばですが、大変だということです。TPP11で外国の農産物の関税が引き下げられ、農産物の輸入が増えています。アメリカはTPP11よりもさらに関税を引き下げてアメリカの農産物をたくさん買えと言っています。1960年の日本の食料給率は79%。年々減り続けて、今年の日本の食料自給率が37%になったそうです。これから温暖化で農産物の生産が困難になると言われているなか、2050年には世界の人口が90億人を超して、今の1.5倍の食料生産が必要になると言われています。大丈夫でしょうか。

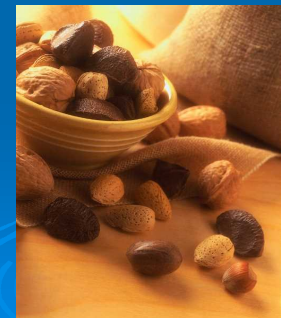
世界の農産物の8割は家族農業で生産されていると国連が発表しています。澤井さんも家族農業です。ちかえさんの弟かずお君(南の3期生)も小比企で家族農業を営んでいます。ひろふみ君(南3期生)も家族農業です。アメリカは家族農業を国が支援し、価格保証などもして手厚く農家を保護しています。日本はどうでしょうか？家族農業はやめて企業などによる大規模農業をとるという政治家がいます。山地の多い日本で大規模農業ができるのは北海道くらいしかありません。日本の食料の安全保障が本当に心配です。



スライド『たった一つの宇宙船』 矢上作成

世界の人口は2050年には90億人を超えると言われてています。

- 世界の80%の人が水を安心して飲むことができなくなると言われています。国連食糧農業機関(FAO)によると、これらの人々を食べさせるには、農業生産を現在より50%増やさなければなりません。さて、農作物を育てるには何が必要ですか？



1 水

2 土壌

1tの小麦は1000tの水、1tの牛肉は1万4000tの水が必要。日本は農産物だけで627億tの水を食料(バーチャルウォーター)として輸入しています。

農業の有する多面的はたらき

- ・水を蓄える
- ・洪水を防止
- ・水質浄化
- ・大気浄化
- ・土砂の流出、山崩れ防止
- ・生態系保全
- ・気候の緩和

農業の環境・自然保護のはたらきをお金にすると11兆円を超えています。



